



# 10月13日は 麻酔の日

1804年10月13日、今から220年前の江戸時代の日本で、華岡青洲がわが国で  
世界初の「全身麻酔」による乳癌摘出手術を成功させました。  
青洲の成功は人類が手術の痛みから解放された歴史的な日として、  
日本麻酔科学会はこの日を「麻酔の日」と制定しました。

麻酔科医の仕事というと、「手術の麻酔をかける」というイメージがありますが、実際には、麻酔科医は手術中に患者さんを注意深く監視し麻酔の調整を行うだけでなく、手術前から患者さんの体調を確認し、麻酔計画を立て実行し、手術後も集中治療や痛みの管理をしています。手術室以外でも・集中治療室・救急医療・ペインクリニック・緩和医療・出産時の無痛分娩の管理などとても幅広い分野で活躍しています。

麻酔科医は患者さんの健康と安全を支えるために日々奮闘しています。



公益  
社団  
法人 日本麻酔科学会  
Japanese Society of Anesthesiologists